

環境調査結果のお知らせ

平成29年10月24日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は17.4~23.6℃で、前回調査時(H29.9.26)と比較して全層で2.8~8.2℃下降していました。

塩分は6.1~31.4で、前回調査時と比較して全層で0.9~17.7低下していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.5~8.5mg/lで、前回調査時と比較して全層で0.3~1.8mg/l上昇していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.5mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.9.26)	
		差(今回-前回)	
0m	17.4	24.9	▲ 7.5
1m	17.7	25.9	▲ 8.2
2m	22.9	26.5	▲ 3.6
B-1	23.6	26.4	▲ 2.8

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.9.26)	
		差(今回-前回)	
0m	6.1	16.9	▲ 10.8
1m	6.4	24.1	▲ 17.7
2m	27.7	30.3	▲ 2.6
B-1	31.4	32.3	▲ 0.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.9.26)	
		差(今回-前回)	
0m	8.5	8.1	0.4
1m	8.3	7.9	0.4
2m	5.8	5.5	0.3
B-1	5.5	3.7	1.8

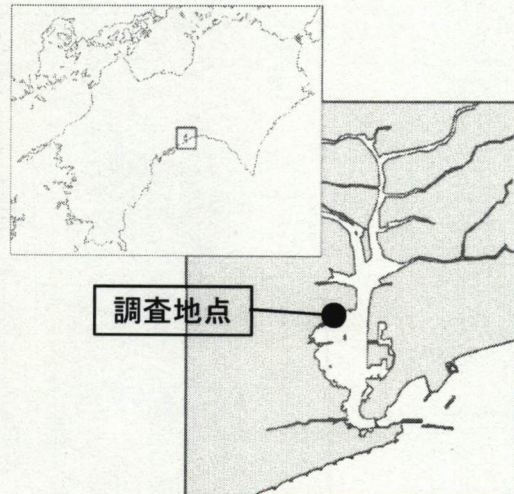


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	4.0	3.7
透明度	2.5	2.3

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロセントラム・トリエステイナム	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	20

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>